

Tk リファレンス

`tkinter` アプリケーションのルートウィンドウを管理する `Tk` クラスについての詳細なリファレンスです。

概要

`Tk` クラスは、`tkinter` アプリケーションのトップレベルウィンドウを作成するために使用されます。すべての `tkinter` ウィジェットは、このルートウィンドウまたはその子孫の中に配置される必要があります。

基本的な使用方法

ウィンドウの作成と表示

```
import tkinter as tk

# ルートウィンドウの作成
app = tk.Tk()

# ウィンドウのタイトルを設定
app.title("シンプルなウィンドウ")

# ウィンドウのサイズを設定 (幅x高さ)
app.geometry("300x200")

# イベントループを開始
app.mainloop()
```

クラスベースでの作成

```
import tkinter as tk

class SimpleApp(tk.Tk):
    def __init__(self):
        super().__init__()

        # ウィンドウの設定
        self.title("シンプルなウィンドウ (クラスベース)")
        self.geometry("300x200")

if __name__ == "__main__":
    app = SimpleApp()
    app.mainloop()
```

主要なメソッド

メソッド	説明
<code>title(string)</code>	ウィンドウのタイトルバーに表示されるテキストを設定します。
<code>geometry(geometry_string)</code>	ウィンドウのサイズと位置を設定します。例: <code>"300x200+100+100"</code> (幅300, 高さ200, x座標100, y座標100)
<code>minsize(width, height)</code>	ウィンドウの最小サイズを指定します。
<code>maxsize(width, height)</code>	ウィンドウの最大サイズを指定します。

メソッド	説明
<code>resizable(width, height)</code>	ウィンドウのサイズ変更の可否をブール値で設定します (水平方向、垂直方向)。
<code>mainloop()</code>	アプリケーションのイベントループを開始します。ユーザーの操作を待ち受け、ウィンドウが表示され続けるようにします。
<code>destroy()</code>	ウィンドウを破棄し、 <code>mainloop</code> を終了します。
<code>update()</code>	ウィンドウの表示を強制的に更新します。

実用的な例

ウィンドウ位置の指定

`geometry` メソッドに `"幅x高さ+X座標+Y座標"` の形式で文字列を渡すことで、ウィンドウのサイズと表示位置を同時に指定できます。

```
import tkinter as tk

app = tk.Tk()
app.title("位置指定ウィンドウ")

# 幅 400, 高さ 300, 画面の (100, 200) の位置に表示
app.geometry("400x300+100+200")

app.mainloop()
```

ウィンドウの中央表示

```
import tkinter as tk

app = tk.Tk()
app.title("中央表示ウィンドウ")

window_width = 400
window_height = 300

# 画面の解像度を取得
screen_width = app.winfo_screenwidth()
screen_height = app.winfo_screenheight()

# 中央に表示するための座標を計算
center_x = int(screen_width/2 - window_width / 2)
center_y = int(screen_height/2 - window_height / 2)

app.geometry(f'{window_width}x{window_height}+{center_x}+{center_y}')

app.mainloop()
```

ウィンドウ終了の確認

```
import tkinter as tk
from tkinter import messagebox

def on_closing():
    if messagebox.askokcancel("終了", "本当に終了しますか?"):
        app.destroy()

app = tk.Tk()
app.title("終了確認")

# ウィンドウの閉じるボタンにカスタム関数をバインド
app.protocol("WM_DELETE_WINDOW", on_closing)
```

```
app.mainloop()
```

クラスベースでの実装

小規模なスクリプトでは手続き的な書き方でも問題ありませんが、より複雑なアプリケーションでは、コードをクラスにまとめることで、構造化され、再利用しやすくなります。

`tk.Tk` や `tk.Frame` を継承してカスタムアプリケーションクラスを作成するのが一般的です。

- **`tk.Tk` を継承するケース:** アプリケーションの主となるウィンドウ（ルートウィンドウ）そのものをクラスとして定義する場合に適しています。シンプルで単一ウィンドウのアプリケーションに多く使われます。この場合、クラスのインスタンスがルートウィンドウ自身となります。
- **`tk.Frame` を継承するケース:** より複雑なUIで、ウィンドウの特定の部分（例えば、ツールバー、ステータスバー、メインコンテンツ領域など）を部品としてカプセル化したい場合に適しています。この方法では、まず `tk.Tk()` でルートウィンドウを作成し、その中に `tk.Frame` を継承したカスタムウィジェットのインスタンスを配置します。これにより、UI部品の再利用性が高まります。

以下は、主ウィンドウとして `tk.Tk` を継承する一般的な例です。

```
import tkinter as tk
from tkinter import messagebox

class App(tk.Tk):
    def __init__(self):
        super().__init__()

        self.title("クラスベースのアプリ")
        self.geometry("400x300")

        self.create_widgets()

        # ウィンドウの閉じるボタンの挙動を設定
        self.protocol("WM_DELETE_WINDOW", self.on_closing)

    def create_widgets(self):
        # ラベルの作成
        self.label = tk.Label(self, text="これはクラスベースのtkinterアプリケーションです。")
        self.label.pack(pady=20)

        # ボタンの作成
        self.greet_button = tk.Button(self, text="挨拶", command=self.say_hello)
        self.greet_button.pack()

        # 終了ボタン
        self.quit_button = tk.Button(self, text="終了", command=self.on_closing)
        self.quit_button.pack(pady=10)

    def say_hello(self):
        messagebox.showinfo("挨拶", "こんにちは！")

    def on_closing(self):
        if messagebox.askokcancel("終了確認", "本当にアプリケーションを終了しますか?"):
            self.destroy()

if __name__ == "__main__":
    app = App()
    app.mainloop()
```

ベストプラクティス

プラクティス	説明
インスタンス化	<code>Tk</code> のインスタンスは、アプリケーション全体で一つだけ作成するのが基本です。
ウィジェットの配置	<code>Tk</code> インスタンスを作成した後、他のウィジェットを作成して配置します。
<code>mainloop</code> の呼び出し	<code>mainloop()</code> は、すべてのウィジェットの作成と設定が終わった後、スクリプトの最後に呼び出します。
クラスベースの実装	中規模以上のアプリケーションでは、コードの再利用性とメンテナンス性を高めるために、 <code>tk.Tk</code> や <code>tk.Frame</code> を継承したクラスとして実装することが推奨されます。

参考リンク

- [Python Docs - tkinter – Python interface to Tcl/Tk](#)
- [TkDocs Tutorial](#)